



創刊にあたってのごあいさつ

本年6月13日に行われました加古川市議会議員選挙におきまして、3050票をいただき当選することができました。

これも偏に、加古川市民の皆様「このままではいけない、変えなくてはならない」という思いと、それを投票行動で示していただいた結果であると思っています。

皆様から信託をいただいた4年間、精一杯、加古川のために活動して参ります。そして、全ての世代の皆様「住んでよかった、暮らしてよかった」と思っていただけの街の実現のために努力をして参ります。

その活動を皆様に少しでも知っていただくため、定例会閉会時を基本にして定期的に会報誌を発行致します。今後とも、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

中村 亮太

平成22年第4回定例会(平成22年9月14日~10月5日)

初めての議会で一般質問を実施。初登壇を致しました！



平成22年9月15日

一般質問内容項目

1. 市民の政治参加について
 - (1) 投票率低下の原因分析について
 - (2) 若年層へのアプローチについて
 - (3) 投票所について
2. 待機児童の問題について
 - (1) 潜在的待機児童について
 - (2) 待機児童ゼロへの計画について
 - (3) 待機児童の低年齢児化に対する対応について

詳しくは、なかむら亮太ホームページに掲載しております。

一般質問項目に対する思い

- 1) 今回の投票率は49.56%。特に20代は30%でした。子育て等の若い世代に関わる問題を考えるには、対象世代の政治参加が不可欠です。その意味でも今回の結果は問題であり、対応の必要性を感じました。
- 2) 待機児童数は、加古川市においては11名です。ですが、いただくお声、また体感的にも「本当にそれだけなのか？」という思いがありました。書類上だけで考えては問題解決になりません。

9月議会ダイジェスト

◆各会計決算（一般会計・特別会計・企業会計）

	決算額		形式収支 (d)=(b-c)	繰越財源 (e)	実質収支 (d-e)
	歳入(a)	歳出(b)			
一般会計	78,133,758	77,767,673	366,085	271,303	947,782
特別会計	50,980,411	50,153,813	826,598	29,350	797,249
計	129,114,169	127,921,486	1,192,683	300,653	1,745,031

(単位：千円)

(企業会計)

水道事業

総収益	5,456,404
総費用	4,982,627
当年度純利益	473,777
前年度繰越欠損金	0
当年度未処分利益余剰金	473,777

(単位：千円)

病院事業

総収益	8,070,194
総費用	9,135,931
当年度純利益	△1,065,736
前年度繰越欠損金	4,177,055
当年度未処分利益余剰金	5,242,792

(単位：千円)

平成21年度決算は、一般会計、特別会計ともに、翌年に繰り越すべき財源を引いた実質収支が黒字決算となりました。財政の健全化基準は下回っているものの、財政の弾力性を示す経常収支比率は92.5%と昨年比0.5%上昇しており、決して余裕がある状況ではありません。固定化された歳出を見直し、コスト意識を持って、将来に向けての健全な財政運営をしていかねばなりません。

病院事業は内科医師の減少が響き赤字となりましたが、統合を踏まえて内科医師が増加に転じ、改善が見込まれます。

◆主な議決

	件名	議決結果
議案第80号	地方独立行政法人加古川市民病院機構中期目標を定めること	原案可決(賛成多数)
意見書第4号	子宮頸がんの予防措置実施の推進を求める意見書	原案可決(全会一致)
意見書第5号	取り調べの可視化など刑事訴訟法の改正を求める意見書	原案可決(全会一致)
意見書第6号	小・中学校での35人・30人学級の確実な実現を求める意見書	原案可決(全会一致)



なかむら亮太プロフィール

1981年4月4日生 妻と2人暮らし 加古川町木村在住
白陵中学・高等学校、関西学院大学法学部卒

大学生の頃、落選中の岡田康裕氏をボランティアスタッフとして応援
大学卒業後は証券会社に勤務。数十社のベンチャー企業の株式上場に携わる。
岡田康裕衆議院議員の公設秘書を経て、自身の政治活動を本格的にスタート
2010年6月13日、加古川市議会議員選挙において3,050票をいただき初当選

趣味：旅行、読書、歴史的なものを見ること

尊敬する人物：土方歳三、広田弘毅

好きな言葉：なせば成る

ブログもご覧下さい→



なかむらの 気になる用語集

◎一般会計

市の行政運営の基本的な経費が計上される会計。特別会計以外の会計で、財源は市税や地方交付税などです。基本的に自由に使えます。

◎特別会計

一般会計とは別に、独立した経理管理が行われる会計。本来、予算は単一で経理処理しなければならないが、特定の歳入で特定の事業を行う場合、単一処理すると各事業の資金管理や収支が分かりにくくなる恐れがあるので、例外的に独立させて経理処理をする。ただ、一般会計からの繰り入れもあり、完全に独立しているわけでもありません。加古川では、国民健康保険・介護保険・駐車場事業など、14の特別会計があります（企業会計除く）。

◎企業会計

地方公共団体の経営する企業の会計。事業に係る経費を使用料等の収入でまかない、住民サービスを提供するための特別会計。加古川では、水道と病院の2事業です。

◎経常収支比率

地方自治体の財政の弾力性を示す指標。経常経費の割合を示すもので、100に近づくほど弾力性がないということになります。大ざっぱに言うと、一般家庭のエンゲル係数のようなイメージです。

ホームページも是非ご覧ください！

<http://ryotanakamura.com/>

もしくは検索サイトで

なかむら亮太

検索